

033 鎌倉時代 社会経済史① 武士の生活

<武士の生活>

オヤカタサマ

◇住居 館 を構える

寝殿造を 簡素 化して、

堀 や 矢倉 を備えた 武家造
弓矢とる物の家よく作てはなにかはせん
(「男衾三郎絵巻」)

◇農業経営

直営田 の耕作。

= 佃、門田、正作 など

◇地頭としての任務2つ

①徴税権…農民から 年貢

公事・夫役の徴収 を行い、
荘園領主 に納める。

②警察権… 治安 の維持。

◇ 惣領制

①宗家の長である 惣領 が
一族を強力に統率する制度。

惣領以外を 庶子 という。

②一族の所領は、惣領と庶子が
結束してみんなで守っていく。

③惣領には 悔い返し権。
一族に譲った所領を取り戻す権。

→ 惣領は一族を強力に統率できる

④戦時には一族が結束して
強力な戦闘ユニットとなる。

◇相続… 分割相続 が原則。

※後に 所領の細分化 を招く。

女性 の地位は比較的高い。巴御前。

女性の地頭 もいた。

女性の御家人 もいた。

◇道徳規範

◎「武家のならい」

→ 合戦時に 馬 を射ない等の規範。

「兵の道」、「弓馬の道」

→ 一族 のために武芸を怠らない

◎頼朝は、俊兼の水千が華美なのを
見ると、袖を刀で切り落した。

そして「その財があるなら家臣を
多く養うべきではないか」と叱責。

◎泰時公の主食は 玄米 でした。

◎北条時頼様は私と みそ を酒の
さかなにして飲みました。時頼様
は「これで十分」とご機嫌でした。

◎「男衾三郎 絵巻」 常に臨戦態勢。

庭草ひくはボーボーにしておけ

馬小屋の末に生首絶やすな

館の門の外を通る坊主がいたら良い練習だ

◎(参考)御成敗式目

10条 人殺しはよくないぞ。

12条 人の悪口を言ってはいけないぞ。

13条 人を殴るのはよくないことだ。

◇武芸… 騎射三物 の重視

① 流鏑馬 …馬で疾走して板的を射る。

② 笠懸 …懸けた笠を馬上から射る訓練。

③ 犬追物 …狭い場所に36騎と犬150頭
馬に乗って犬を何頭射たかを競う。

◇地頭の土地支配の拡大

① 地頭請 …地頭に 土地管理

一切を任せる代わりに 年貢 だけ
受け取る。本所は自分の荘園なのに立ち入れなくなる。

② 下地中分 …土地(下地)を
地頭と 本所 とで折半する。

武士が初めて土地所有者となった瞬間。

伯耆国 東郷荘 の例がよく出る。